



誰一人置き去りにしない  
社会を目指して



発行：SDGsいたばしネットワーク

発行日：2020年1月12日

\*SDGs：「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として置き去りにしないことを誓っています。

### もくじ 特集 SDGsいたばしネットワーク いざ始動！—設立総会を開催しました— … 2

SDGsいたばしネットワークの社会的使命

—連携と協働の構築で「いまから2030年」そして“それから(未来)”を切り開く— … 2

区施策との連携 … 4

活動地域ブロックのご紹介 … 6

2019年PR活動 … 7

掲示板—お知らせ&会員・ボランティア募集— … 8



㊦ すべての板橋区民は

㊦ “誰も置き去りにしない・されない”を目標に

㊦ 具体的な自分ごととして行動します。

㊦ さあ！つながろうSDGs



## SDGsいたばしネットワークの社会的使命

——連携と協働の構築で「“いまから2030年”そして“それから（未来）”を切り開く——

私たちは、「今と未来をつくる」大きなチャンスとして国連のSDGs「誰も置き去りにしない」に呼応し、SDGsいたばしネットワークを設立、新たな歩みを開始しました（後掲）。

この「置き去りにされている課題」をどのように捉えるのか。このことに示唆を与える言葉があります。それは、政治哲学者オルテガの「私は、私と私の環境である。そしてもしこの環境を救わないなら、私をも救えない。」の哲学的指摘です。よく言われる「社会的存在」としての私たち。その私たちが「誰も置き去りにしない」をどのように捉えるのか。私たちは、苦しんでいる人とその状況（環境と関係性）、このことを学び、改善に向けて一歩踏み出す大きな契機と運動にしたいと思います。

さらに、具体的にどうするのか。二つの視点で見えます。一つは行政との協働です。「誰も置き去りにしない」については、大きくは人権の課題として捉えます。よって、行政並びに議会そして関係機関との協働作業が必然的になります（後掲）。世界に通底する普遍的課題としても誠実に取り組んでいきたいと思えます。

二つ目として、共生社会の構築です。「誰も置き去りにしない」で問われている人間関係の喪失、居場所の減少、孤独やいじめの増加など日常生活はもちろんのこと、昨年の台風などでさらに共助と自然環境の課題が浮き彫りになり、その対応を私たちに問いかけています。各分野の皆様と2030年を目標の節目に歩んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

2020年1月12日 SDGsいたばしネットワーク代表 加藤勉

## 特集 SDGsいたばしネットワーク いざ始動！—設立総会を開催しました—

11月30日（土）13時半より仲宿地域センターにおいて、86名の出席のもとSDGsいたばしネットワーク設立総会を開催しました。

設立総会ではSDGsいたばしネットワーク準備会の加藤勉世話人が経過説明と開会挨拶を行った後、議事に入りました。会則を決定した後、設立当初役員の選任を行い、代表に加藤勉、副代表に山本秀樹・三枝節夫・島村恵子、幹事に廣瀬カズ子・土居弓子・栗和田敏、監事に前田順一郎・青木浩和の各氏を選任しました。その後、事業活動方針及び事業計画と2019年度収支予算を決定し議事を終了。引き続き、事業の具体的な推進について①地域ブロックの活動、②課題別推進プロジェクトを中心に報告や意見交換を行いました。以下、SDGsいたばしネットワークの目的と事業活動方針及び事業計画の概要を紹介します。

### 1. 目的

SDGsいたばしネットワークは（持続可能な開発目標）の理念である「誰も置き去りにしない」の視点にたって共に学び合いながら、子ども・若者から高齢者まですべての市民が生き生きと暮らし続けることがで

きる持続可能な共生社会の実現をめざす活動を行うことを目的とします。[4ページ概念図参照]

### 2. 事業活動の基本方針

（1）SDGsいたばし宣言（2019年3月23日）を踏まえた活動を推進します。[詳細は創刊号に記載]

#### ●SDGsいたばし宣言2019 抜粋

- ①「誰も置き去りにしない・されない社会」の実現をめざし、私たち一人ひとりが人間の尊厳を脅かす課題を直視し、垣根や差異を超えてつながりあい、ともに学び合い、協力しあいます。
- ②置き去りにされている課題を身近な地域で学び合える場づくりに取り組むとともに、私自身の課題として学びます。
- ③置き去りにされている課題の根っこを発見し、ともに協力し解決に取り組みます。
- ④未来の希望である子どもたち・次世代をみんなで守り育み、子どもたちが参画できるまちづくりに取り組みます。
- ⑤私たちの、そして、SDGsいたばしネットワークの取り組みを広く発信し、日本と世界の人びとと友だちになります。

(2) 活動にあたっては、継続的な学び合いを通して、①現状を把握し、②課題を整理し、③一歩改善に動く一ことを基本方針とします。そして、何が改善され、何が置き去りにされているのか、その原因と解決策を研究していきます。

(3) 事業活動への参加は会員の有無を問いません。常に広く個人・団体等が参加できるように心がけます。

### 3. 活動予定

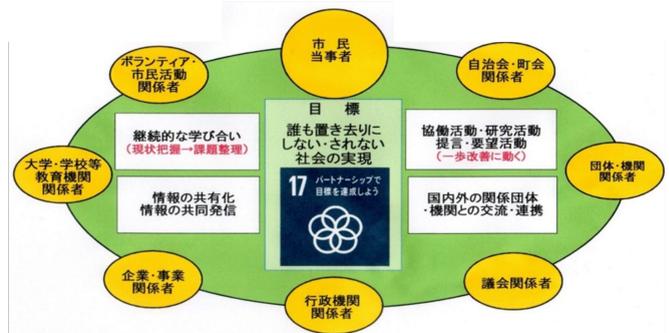
SDGsの目標である2030年までの事業計画は、下図の“「SDGs誰も置き去りにしない」いたばし2030年事業計画”をご覧ください。2019年・2020年の事業計画は、次の通りです。

- (1) 地域ブロックごとの地域の集いの推進 (6地域ブロックで推進)
- (2) 課題別推進プロジェクトの推進
- (3) SDGsいたばし研究所による深堀プロジェクトの推進
- (4) 全体活動の推進
- ①シンポジウム等による総合的な現状把握と課題

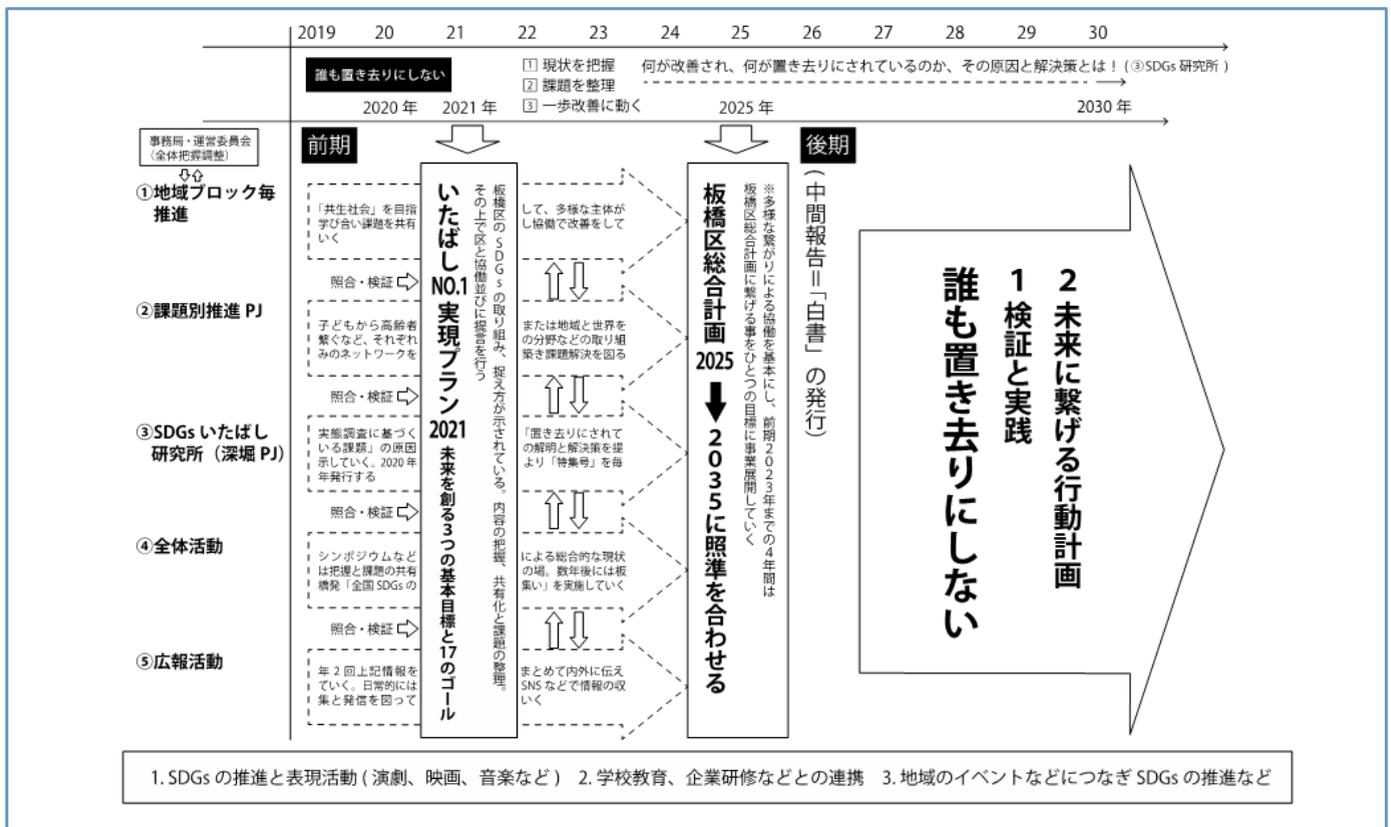
の共有。(2021年に板橋発「全国SDGsの集い」の実施を予定しています。)

- ②SDGs「誰も置き去りにしない取り組み」と板橋区の総合計画との相関性に関わる学習会の実施
- ③課題解決にむけた提言活動の実施
- ④SDGs推進のための表現活動(演劇、映画、音楽など)及び関係団体との共同活動などの実施
- ⑤関連団体等との連携(「板橋ふれあい祭り」への参画等)及び学校教育、企業研修等との連携
- ⑥区および地域のイベント等への参画(区主催:区民まつり、産業見本市等)
- ⑦本会事業の広報及び各分野・地域の多様な主体の活動情報などの発信、国内外組織との交流等

SDGsいたばしネットワークの概念図



「SDGs誰も置き去りにしない」いたばし2030年事業計画



## 区施策との連携

SDGsは、民間団体だけではなく、国や公共機関も取り組んでいます。ここでは、板橋区のSDGs政策についてご紹介しながら、SDGsいたばしネットワークと区の連携についてご紹介します。

### 1. 区の施策との連携の考え方

SDGsの目標達成には、区役所の施策や企業の事業戦略、市民団体など多様なセクターとの連携が不可欠です。2019年10月31日（木）から11月1日（金）に実施された「いたばし産業見本市」では、企画展示へ参加し企業との連携のきっかけを得ることができました[7ページ参照]。また区の施策との連携は、これを十分理解しSDGs視点で整合していく事が重要となります。

### 2. 板橋区のSDGs基本構想

板橋区は「誰一人取り残さない社会」を実現するためSDGsの17のゴールを区の各施策とつなげて取り組み、SDGs先進都市になることを宣言しています。この活動の中で「いたばしNo.1実現プラン2021」は2018年からの3年間の具体的な活動ですが、計画された時期より後にSDGsの展開が始まったため、既に具体化された活動項目とSDGsの目標の関係性を後追いで表現しています。後期計画（2022年～2025年）では計画段階からSDGsの目標を組み込む事が重要で、この検討（2020年～2021年）を一緒に行うことがポイントです。

#### ●活動例の紹介

##### 緑のカーテン

ゴーヤなどのつる性の植物を窓の外に茂らせた植物のカーテンにより、夏の強い日差しや外からの熱を和らげ室温の上昇を抑える効果がある緑のカーテンが全国に広まりを見せ「環境」活動が地域の結びつきを生み、地球温暖化対策の促進につながる「社会」活動となっている。



##### 保幼小中一貫環境教育プログラムの実践など

保幼小中一貫環境教育プログラムの実践や板橋清掃工場の余熱を利用した熱帯環境植物館による「環境」の普及・啓蒙活動、マレーシアへの東京23区清掃一部事務組合が保有する技術を活用した清掃事業の国際協力や人的交流から区立中学生派遣事業に発展した国際「社会」との交流事業を推進している。



【出典】板橋区「SDGsを見据えた持続可能な区政経営をめざして」令和元年9月5日

#### 板橋区の基本構想等スケジュール

	2016年	...	2018年	...	2020年	2021年	...	2025年	...	2030年	
<b>基本構想</b> 区政の基本理念・将来像など長期的指針	策定	板橋区基本構想 計画期2016～2025年（10年間）								次期計画	SDGsの目標達成年
<b>基本計画</b> 基本構想の実現に向けた中長期的な施策体系	策定	板橋区基本計画2025 計画期2016～2025年（10年間）									
<b>実施計画（No.1実現プラン）</b> 基本計画を推進する短期的な行動計画	策定	No.1実現プラン 2018（3年間）	No.1実現プラン2021 2019～21年（3年間）			後期計画（次期計画） 2022～2025年（予定）					



SDGs17ゴール

SDGs項目との関係性を表現

SDGs17項目を後期計画に組み込む  
後期次期計画の審議：2021年度

この時に如何に連携するかがポイント！

### 3. 区との連携に向けて

いたばしネットワークの総会（2019年11月30日）で実施した「取り組みたい課題」のアンケート調査結果と区の「いたばしNo.1実現プラン2021」（基本目標と17のゴール）について関係性を明確にし、更に成果を測る指標を“SDGsの評価尺度”を参考に検討します。下図参照。

#### 板橋区総合計画に関わる学習会の開催

「誰も置き去りにしない」取り組みを進めるため、「置き去りにされている課題」と私たちの日常生活に最も密着している区の政策である「板橋区総合計画」等との相関性を照らしながら課題の整理を行うことを目的に事前学習会を開催します。詳細は、8ページをご覧ください。

地域の疑問  を発見  に

### 区との連携ステップ

#### STEP 1 SDGs いたばしネットワークへの参加団体・企業の取り組みたい活動分野といたばしNO.1実現プラン2021の関係性を明確にする

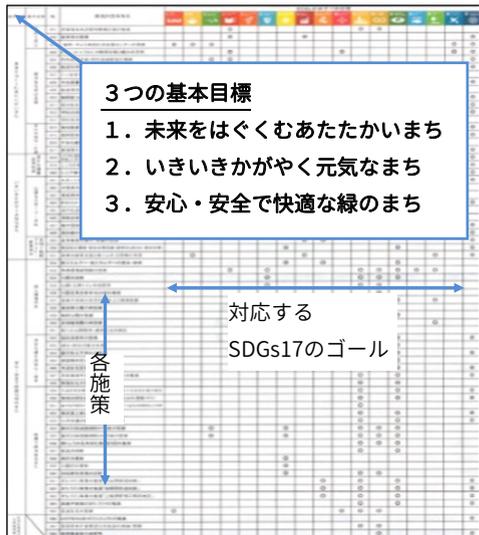
ネットワーク参加団体・企業の  
取り組みたいSDGsの活動分野（複数回答）

活動分野	希望件数
ア. 貧困・格差	26
イ. 保険・医療・福祉	44
ウ. 教育分野	23
エ. ジェンダー	8
オ. 障害分野	24
カ. 防災・減災	29
キ. 環境	17
ク. ユース（子ども・若者）	16
ケ. まちづくり	33
コ. 公正・社会的責任	9
サ. 平和・国際協力	11
シ. 企業連携	9
ス. その他	5

関係性の明確化

活動分野と区の実  
現プランの各目標  
の関連性を明確に

いたばしNo.1実現プラン2021の各事業  
（未来を創る3つの基本目標と17のゴール）



3つの基本目標

1. 未来をはぐくむあたかいまち
2. いきいきかがやく元気なまち
3. 安心・安全で快適な緑のまち

対応する  
SDGs17のゴール

各施策

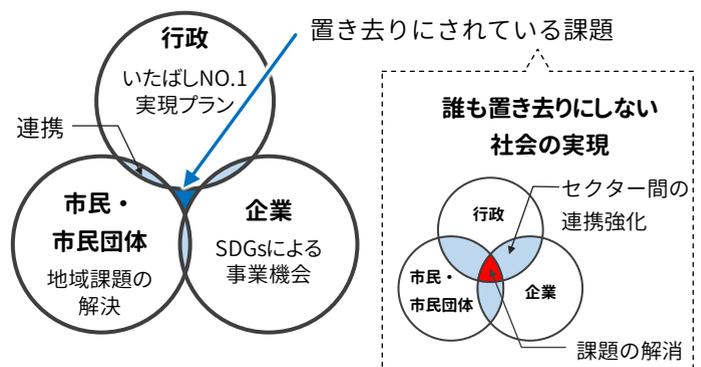
#### STEP 2 上記の関係性を学ぶための準備会を開催する（いずれも、19：00からデイサービスおむすびにて開催）

準備会（活動分野と区の施策の関係性の検討など）					整理（学習会準備など）	
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	整理1回目	整理2回目
2019/12/11	2020/1/15	2020/1/29	2020/2/12	2020/2/26	2020/3/11	2020/3/25

#### STEP 3 公開フォーラムの開催

1周年記念行事  
（仮称）私たち区民と行政が協働で  
進めるSDGs・誰も置き去りにし  
ない板橋！  
開催日：2020年5月30日（土）  
※詳細は後日発表いたします。

#### STEP 4 2020年6月以降、板橋区の総合計画・次期計画とSDGsの相関性を学び合う学習会開催



## 地域ブロックのご紹介

地域ブロック単位で多様な主体が学び合い、課題を共有し協働して改善に取り組む事業がスタートしています。ぜひ一緒にご参加ください。



### 6 地域ブロックで 出たキーワード

- ・世代を超えたコミュニティづくり
- ・子ども、若者
- ・町会パワーアップ
- ・多様な住まい方
- ・働き方、生きがい
- ・仕組み（公契約条例、地域間協定など）
- ・ゴミ分別、堆肥ステーション、プラごみゼロ
- ・サポートチーム
- ・フードロス、食

### 1. 中台・常盤台・富士見ブロック

盆踊り、子ども祭り、防災訓練等、それぞれの地域での取り組みを軸に住民のネットワークを広げ、地域同士のつながりを深める役割をSDGsがなっていると考えています。地震や台風等の自然災害により防災・応災のニーズが高まる今、地域防災への関わりを方向性としたいと考えています。



常盤台三丁目町会・上板橋第三中学校での要配慮者との避難訓練の様子  
出典:東京都防災ホームページ

今後の  
活動

毎月第3水曜日 19:00～  
たつこのデイサービス(常盤台3-24-1)  
または ときわの杜(常盤台3-27-12)  
リーダー下島 090-8464-9611

### 2. 桜川・大谷口・仲町ブロック

「地域に広く呼びかけ、SDGsを学習していこう」との行動目標を決め、イベント的な事と学習会を同時進行で行っています。今後は「小茂根の郷」と協働で開催予定です。現在は、小茂根方面からは災害対策、向原方面ではコミュニティバス運行が課題として上がっています。



今後の  
活動

毎月第1土曜日 14:00～  
コーシャハイム向原集会室(向原3-7-1)  
リーダー林 080-3017-8118

### 3. 板橋・仲宿・熊野ブロック

先日の台風19号の被害などから防災に関する勉強会を通じて子どもやおとしよりや地域の人にSDGsを広めていく、連続講座を企画していく予定です。



会場のデイサービスおむすびの外観  
出典:NPO法人みんなのセンターおむすびホームページ

今後の  
活動

毎月第4木曜日 19:00～  
デイサービスおむすび(仲宿45-6)  
リーダー勝沼 080-3003-8851

### 4. 志村・清水・前野ブロック

毎月開催されている「おたがいさまネットワーク」を通じて子どもやおとしよりや地域の人にSDGsを広めていきます。この会は活動実績が10年あり、毎年テーマを決めて防災やおとしよりの介護についてなど、地域の多様な人々が集まり勉強会を行っています。



今後の  
活動

毎月第3木曜日 18:30～  
清水町第2集会所(清水町72-7)  
リーダー土居 090-3436-3557

### 5. 成増・赤塚・徳丸ブロック

6月13日（土）14日（日）に行われる「まなぼーと成増フェスタ」というイベントで、SDGsのミニ講座を実施して地域の来場者にSDGsを知っていただき、仲間を増やしていきたいと考えています。



今後の活動

毎月第2木曜日 19:30～  
まなぼーと成増(成増1-12-4)  
リーダー三枝 090-3801-5869

### 6. 高島平・舟渡・蓮根ブロック

団地の高齢化など高島平の特徴的な地域の課題の解決を目指して、誰も取り残さない地域づくりの話し合いを重ねています。地域活動をしているメンバーがお互いに知り合うことで地域資源のネットワーク化を進めていきます。



今後の活動

毎月第2金曜日 18:30～  
高島平団地33・2集会所(高島平2-33-2)  
リーダー池田 090-9671-4131  
廣瀬 090-2652-9889

問合せ  
連絡先

### 6 地域ブロック連絡会

担当幹事 土居 弓子（どい ゆみこ）電話：090-3436-3557 E-mail：yusumo2085@gmail.com

## 2019年PR活動

10/19（土）・20（日）

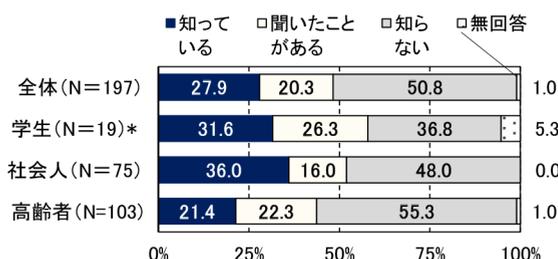
### 板橋区民まつり

今年のテーマは「みんなでつくりよう！SDGs先進都市いたばし」。

私たちSDGsいたばしネットワークは、板橋第一中学校の校庭にテントを張り、SDGsのPRコーナーを設けました。来場者に直接声掛けし、アンケートにご協力いただきました。



SDGsを知っていますか？－アンケート結果より－



\*学生は、回答数が少ないため参考値扱いとする

まだまだSDGsをご存じない区民がたくさんいます。私たちはこれからも区並びに関係者と協力してSDGsを広めていきたいと考えています。

いたばし産業見本市では、企画展示としてSDGsが取り上げられました。私たちSDGsいたばしネットワークは、企画展示コーナーにパネル出展し、来場された企業のみなさんとコミュニケーションをはかりました。産業界ではSDGsの関心は非常に高く、およそ100人と名刺交換をし、総会のご案内や今後の情報提供を許可をいただきました。



10/31（木）～11/1（金）

### いたばし産業見本市



**SDGs「誰も置き去りにしない」取り組みと板橋区総合計画に関わる学習会の開催** 5ページ

**開催日** 毎週水曜日 19:00～21:00 参加費無料  
**会場** デイサービスおむすび（板橋区仲宿45-6）  
**内容** 課題と総合計画の相関性の検討（1/15、1/29、2/12、2/26）  
 課題の整理（3/11、3/25）

**SDGsいたばしネットワーク「表現活動ミーティング」の開催**

**日時** 1月24日（金）19:00～  
**会場** デイサービスおむすび（板橋区仲宿45-6）  
**内容** SDGs×表現活動（例えば、劇、映像、歌、ダンス・踊り、楽器演奏、朗読など）の取り組みについて話し合います。個人・団体で表現活動をしている皆さま、ご参加ください。

**29回地域福祉シンポジウム**（主催：板橋福祉のまちをつくろう会、他共催）

**日時** 2月2日（日）13:00～（受付12:30より）  
**会場** 仲宿地域センター（氷川町12-10）  
**テーマ** 「つながって豊かな地域・まちで生きる」  
**内容** 講演 淑徳大学短期大学部教授 塩野敬祐氏 など

**日本公民館学会スプリングフォーラム「SDGsいたばし宣言1周年関連企画—SDGsを地域で推進するために」**（主催:日本公民館学会 / 共催:SDGsいたばしネットワーク他）

**日時** 3月21日（土）13:00～16:15（12:30 受付開始）  
**会場** 板橋区立成増生涯学習センター [まなポート成増]（成増1-12-4）  
**内容** 板橋の取り組み報告（13:30-14:00）①「いたばし宣言について」土居弓子幹事、  
 ②具体的な事例（事例：地域での学習—小学生、中学生が学ぶSDGs、地域での平和学習）

**第38回 板橋ふれあい祭**（板橋ふれあい祭実行委員会他4団体、共催）

**日時** 6月14日（日）10:00～15:30 雨天決行  
**会場** 板橋区立平和公園及び常盤台地域センター、板橋区立教育科学館会議室（予定）  
**テーマ** 誰もがこの板橋（まち）で豊かに生きていくために～誰も置き去りにしない板橋を～  
**内容** SDGsいたばしネットワーク SDGsコーナーの展示・体験学習等



**SDGsいたばしネットワーク・会員募集**

「誰も置き去りにしない」共助（ともに生きる）・共生社会の実現をめざし、一緒に活動しませんか？個人・団体を問いません。区外の方もOKです。年会費1,000円。  
 入会希望の方に申込書をメールやFAX等でお送りしますので、下記までご連絡ください。

**ボランティア募集**

一緒にSDGsいたばしネットワーク事務局運営を手伝っていただけるボランティアを募集しています。興味のある方、詳しく話を聞きたい方は下記までご連絡ください。

**活動例：**事務局運営（交通費実費弁償）、ホームページの制作・運営、SNSによる情報提供・収集、情報紙の作成、勉強会の企画運営など



第2号  
2020年1月号

発行者：SDGsいたばしネットワーク 代表 加藤 勉  
 発行日：2020年1月12日  
 〒173-0004 板橋区板橋3丁目63-5（みんなのたすけあいセンターいたばし内）  
 Tel: 03-5944-1366 Fax: 03-5943-1888 Mail: sdgs-itabashi@mbr.nifty.com